

製品名: WAVE2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19866**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	WASF2
別名	WASF2; WAVE2; Wiskott-Aldrich syndrome protein family member 2; WASP family protein member 2; Protein WAVE-2; Verprolin homology domain-containing protein 2
遺伝子 ID	10163.0
SwissProt ID	Q9Y6W5
免疫原	抗血清はヒト WASF2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

背景

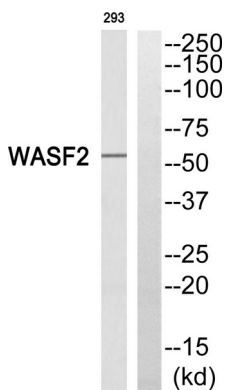
この遺伝子は、ウィスコット・アルドリッチ症候群タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。遺伝子産物は、受容体キ

ナーゼとアクチンを結合する多タンパク質複合体を形成するタンパク質です。アクチンへの結合は、ファミリーメンバー全てにおいてC末端ベルプロリン相同ドメインを介して起こります。この多タンパク質複合体は、細胞の形状、運動性、または機能の変化に関わるシグナルを伝達する役割を果たします。公開されているマップ位置 (PMID:10381382) は、最近のゲノム配列比較に基づいて変更されました。この比較では、発現遺伝子が1番染色体上にあり、偽遺伝子がX染色体上に存在する可能性があることが示されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つかっています。 [RefSeq 提供、2011年1月],ドメイン: C末端領域を介してArp2/3複合体に、またベルプロリン相同性 (VPH) ドメインを介してアクチンに結合します。機能: チロシンキナーゼ受容体および低分子GTPaseからアクチン細胞骨格へのシグナル伝達に関与する下流エフェクター分子です。類似性: SCAR/WAVEファミリーに属します。類似性: 1つのWH2ドメインを含みます。細胞内局在: ラメリポディアアクチン網目構造と膜の界面。サブユニット: アクチンおよびArp2/3複合体に結合します。BAIAP2と相互作用します。ABI1、CYFIP1/SRA1、NCKAP1/NAP1、およびWASF2/WAVE2から構成されるWAVE2複合体の構成要素です。C3orf10/HSPC300と直接相互作用します。組織特異性:すべての組織で発現し、胎盤、肺、末梢白血球で最も強く発現しますが、骨格筋では発現しません。

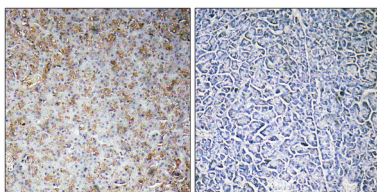
研究分野

Adherens_Junction;Fc γ Rを介した貪食;アクチンと細胞骨格を調節します。

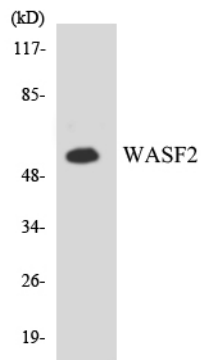
画像データ



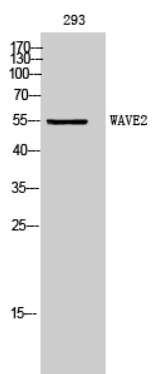
WASF2抗体のウェスタンブロット解析。右レーンはWASF2ペプチドでブロッキングされている。



WASF2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト臍臓の免疫組織化学染色。右レーンはWASF2ペプチドでブロッキングされている。



WASF2 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



WAVE2 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。